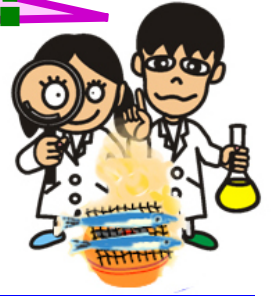
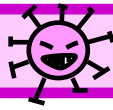


# 感染症に気をつけよう!

2015年【10月号】



## 横浜市内の感染症 流行状況



感染症	流行状況	説明
手足口病	流行  横ばい	ピークを過ぎましたが、警報レベルが続いています。2回かかる例もあります。 <a href="#">手洗いで予防</a> しましょう。【2013.8号】
RSウイルス感染症	流行  増加	急激に増加しています。冬場の風邪のひとつですが、重症化することもあり、注意が必要です。【2014.10号】

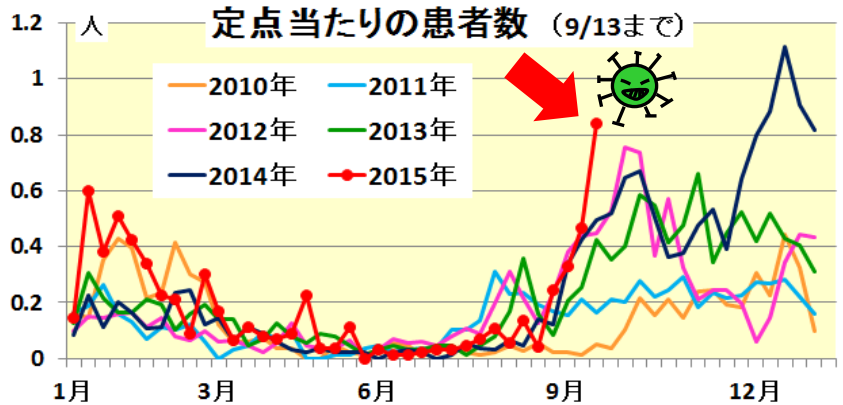
【 】は解説付き既刊号 ← クリック

## 今、気をつけたい感染症 RSウイルス感染症

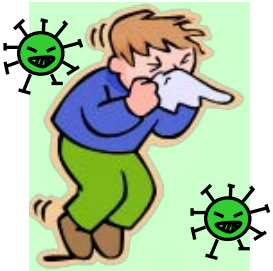


### 》》 どんな病気？ 《《

RS(アールエス)ウイルスの感染が原因です。主な症状は、**発熱・鼻水・咳**などです。通常は1週間位で治りますが、乳幼児や高齢者、免疫の弱っている人等では、**重症**になるケースもあります。



### 》》 感染のしかたは？ 《《



患者の鼻水や咳で飛び散る飛沫(しぶき)には、ウイルスが含まれています。これらで汚れた手や物を介したり、患者の近くにおいて飛沫を吸い込んだりして、ウイルスが目・のど・鼻の粘膜に付着して感染します。特に、**家族の間で感染が広がりやすい**です。また、高齢者施設でも集団発生が起こることがあります。

### 》》 予防方法は？ 《《

今、RSウイルス感染症の報告が、市内で急激に増えています。例年、冬にピークがあり、これから来年にかけて流行が続くと考えられます。年長の子供や大人も、繰り返しかかる場合があります。他の風邪を予防するためにも、**正しい手洗いの習慣**が一番大切です。

